



「みんなが輝く羽村二中」

清 風

令和8年10月8日
学校だより10月号
羽村市立羽村第二中学校

自分づくりに生かす体育大会

校 長 清水 大史

爽秋の候、さわやかな風を感じるころとなりました。保護者・地域の皆様の御支援をいただき、第55回体育大会を実施することができました。御理解と御協力に感謝いたします。生徒が主体となり、生き生きと輝く体育大会となりました。生徒に伝えたメッセージを紹介いたします。

「全校朝礼の話」より

第55回の体育大会は、様々な方々の支えもあり、最高の体育大会となりました。今日の朝礼の目標は「体育大会を振り返り、これからに生かすことを考える」です。開会式で話したスローガンを達成するために、大切にしてほしい3つのキーワードについて、振り返ってみましょう。

まず、全力では、実行委員や3年生のリーダーシップが素晴らしかったです。一生懸命な表情や行動に心を打たれました。選手宣誓から、早くも涙が出てしまいました。また、全員のフォロアースhipも素晴らしく、それぞれの役割で自ら考え行動し、ベストを尽くしていました。本気で全力を出しきる楽しさを、これからもたくさん味わってほしい。

次に、団結では、仲間を思いやって協力する場面がたくさん見られました。大きな声で応援する姿、落ち込んでいる人に寄り添う姿に、心が温くなりました。また、話し合って課題解決しようとする姿には、逞しさを感じました。課題とは、次に目指す目標のことです。これからの学校生活では、仲間と団結し、課題解決するチャンスだらけです。

最後に、感謝では、感謝の気持ちを伝え合う姿がたくさんありました。その姿に、またも涙が出てしまいました。勝ち負けは大切なことですが、もっと大切な「感動」や「絆」という宝物を味わったのではないのでしょうか。その宝物が、一生の思い出として心に刻まれ、成長にも繋がっていくように思います。感謝の気持ちは、人を成長へと導いていきます。

スローガン「勝覇笑美戦～一瞬の勝負、一生の思い出～」のもと、生徒が中心となって、準備・練習・本番に取り組める羽村二中は最高です。体育大会を振り返る作文では、ぜひ、学んだことや身に付けた力を、どのように生かしていくか書いてみましょう。未来の自分づくりに生かす体育大会になったら嬉しいです。みんなが輝いた体育大会をありがとう！

第55回 体育大会 10月3日(土)

今年の体育大会は、記録的な長雨の影響を受け、例年以上に厳しい条件の中での準備となりました。いかに限られた時間で体育大会を創り上げていくかを考えながら取り組んできました。

全体練習では、自分の動きを覚えるだけでなく、全校でつくり上げる美しさや一体感を意識しようと、実行委員長の三富先生から話がありました。学年練習では、仲間と声を掛け合い、少しでも良いものにしようと努力するひたむきな姿が見られました。係活動でも、自分の役割を果たすだけでなく、周囲を見ながら行動する姿が随所に見られました。

それらの中心となったのが、体育大会実行委員の生徒たちです。全体を動かす難しさや責任を感じながらも、互いに相談し、考え、声を掛け合いながら準備を進めていました。実行委員の主体的な姿が、体育大会全体を支える大きな力となりました。本番前日の全校練習では、実行委員の発案により、縦割りで大縄跳びを行いました。学年の壁を越えて声を掛け合い、励まし合う時間は、本校全体の仲間づくりにつながる大切な時間となりました。そして迎えた体育大会当日。

そこには、自分のクラスのために頑張る姿だけでなく、縦割りの他学年のクラスにも、温かい声援を送る優しさと、繋がりがありました。競技に向かう真剣な表情、思うような結果にならず仲間と悔しさを分かち合う姿、勝利や達成感を表現する笑顔。一人一人が本気で取り組んだからこそ生まれる表情に、胸を打たれる場面が数多くありました。

「一生懸命に取り組む姿は、人の心を動かす。」改めて実感した今回の体育大会でした。困難な状況の中でも、決して諦めることなく、仲間と協力し、自分たちの力で行事を創り上げた経験は、生徒たちにとって、大きな自信と成長につながったことと思います。温かく見守り、当日も大きな声援を送ってくださった保護者の皆様や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の温かい応援が、生徒たちの大きな励みとなりました。ありがとうございました。

副校長 網野 千恵子